

I. 総括的概要

21年度の日本商工会議所青年部（日本YEG）は『「One Team! 力強い日本の創造 原点回帰、そして新たなる進化」』をスローガンに、「YEG会員企業発展の支援」、「提言活動」、「年間事業サイクル変更の円滑な実施」、「環境問題への積極的な取り組み」の4テーマを中心に活動を展開した。

具体的な活動としては、会員相互の「親睦・交流」「研修・研鑽」を促進し、各地のYEG活動の活性化を図ることを目的として、全国9ブロックにおいてブロック大会を開催した。

また、年間事業サイクル変更後初となる全国会長研修会、全国大会については、11月に奈良県奈良市で「第27回全国会長研修会奈良まほろば会議」を開催、1,410名の参加を得て、会員同士の研鑽・交流を図った。22年3月には、愛媛県松山市で3,969名の参加を得て「第28回全国大会えひめ松山大会」を開催し、各地商工会議所青年部の意識高揚、連携強化等を図った。

このほか、地域・ビジネスの活性化や、青年部活動の模範となる事業に取り組んだ青年部を表彰するYEG大賞、青年部会員を対象に経営能力やプレゼンテーション能力の資質向上を図るビジネスプランコンテスト、若手国家公務員との交流・意見交換を行う風会議、青年部会員同士のビジネスマッチングを促進するご縁満開ビジネスサイトの運営やビジネス交流会等、多岐にわたって商工会議所青年部および会員企業の発展に資する活動を展開した。

なお、22年3月末現在の青年部設置数は446カ所（515商工会議所中の設置率86.6%）、うち日本商工会議所青年部加入は400カ所（加入率89.7%）となっている。

平成21年度日本商工会議所青年部事業計画

【スローガン】

「One Team!」力強い日本の創造

原点回帰、そして新たなる進化

【会長所信】

現在、米国における金融危機に端を発する金融不安や旧ソ連諸国の紛争問題等、急激に世界の政治経済が不安定となりつつある中、我が国日本においても資源価格高騰にともなう物価の上昇傾向が顕著となり、これまで緩やかながら回復基調であった日本経済も景気後退の局面を迎えつつあります。また、無差別で凶悪な犯罪が各地で発生するなど社会的不安も増大し、国民生活の閉塞感は日増しに強くなってまいりました。

そのような厳しい状況の中で、私たち日本YEGは何をすべきでしょうか？

YEG活動の原点は商工業発展に寄与することにあります。日本経済、そしてその中核となる私たち中小企業が将来に向けて重大な岐路に立たされている今こそ、全国402単会の連合会組織である日本YEGがその持てる力の全てを発揮し、全国のYEG会員企業が地域、ひいては日本経済の牽引役となれるよう積極的に活動すべき時と考えます。そして、我々の次世代に健全でより良い商工業環境を残すことも重要な責務です。

YEGとは“Young Entrepreneurs Group”の略であります。“Entrepreneurs”とは一般的には「起業家」という意味ですが、「閉じてしまった扉を開ける・使命を強い心を持ってやり遂げる」という意味もあります。今まさにYEGの出番なのです。会員である全国402単会とそのメンバーが日本YEGを通じて集い、議論し、考え、そして共有したものこそ、日本の中小企業が力強く発展し、日本経済を再び好転させるための原点となることを確信しています。全国の中小企業が健全に発展し、そこで働く人々が幸せな生活を送る事こそ、我が国日本の未来を切り開く原動力となるのです。

設立27年目を迎える平成21年度は、日本YEGの年間事業サイクルが大きく変更となる年度です。これは全国大会や全国会長研修会等の重要事業の意義や内容を会員の皆様により有意義なものとなるよう再検討した結果として行われるものです。これに併せて、ここ数年間をかけて諸先輩方にご検討を頂き、お預かりした提言を活かしながら諸事業や組織運営方法についても、会員の皆様の視点に立って検討を行っていきたいと考えています。

昨年度は、YEGスクラムでビジネスフィールドを突っ走ってまいりました。

そして今年度は

「One Team!」力強い日本の創造

原点回帰、そして新たなる進化

全てのYEGが一丸となって新たなる歩みを進めて行こうではありませんか！